



「校章」と「校章旗」のデザインについて

本校創立の昭和22年6月、校章制定に当たり、在校生からデザインを募集しました。小井川潤次郎先生が選にあたり、当時1年生だった星野豊君の作品が選ばれたのです。偶然の一致か小中野消防の纏のぼんぼりに似ているということでした。原作は菱形の斜線部分が直線になっていたものを曲線にして、現在まで本校のシンボルとして採用され、校旗をはじめ帽章、校章旗等に使用されていました。

平成7年、中総体の開会式に向けて、校章旗を新調しようとした時、今迄使用していたデザインの「小」の字の間隔や、「中」の字のそれぞれが微妙に違って作られ、使用していることに気づきました。これも、基準になる原図の保存がないため、確認のしようがなかったためであります。

早速、ニシキデザイン社長星野豊氏に、現在使用している校章のコピーを数種類お送りして相談したところ、確かな図とデザインを寄せてくださいました。それは、以前の形と殆ど変わりの無いものでしたが、

- ①「中」に天地の区別をなくし、上下左右対称にした。
- ②「中」と重なる「小」のケツを中心にした左ヘツと右チュウの間隔を均等にした。
- ③当時の広々とした緑の田圃の中にあつた校舎から想を得た、「小」を緑の色調に、「中」をゴールドに指定した。

以上の点を再確認しとても品格と均齊のとれたものでした。

私は、作者の了承を得て創立50周年に向けて、本校の校章旗を、新しいデザインとスクールカラーでつくることにしました。

平成7年度6月の中総体の入場行進では、淡い緑色の背景に、濃い緑色の「小」、金色の（黄色）の旗がへんぽんと翻り見事な行進をしてくれました。平成9年度の卒業生からは、更に一回り大きい、校章旗を卒業記念に残してくれるそうです。

今後、校章旗のデザインを使用するときは、平成7年度の修正を加えたものを使用してほしいと思っています。

平成9年11月 第12代校長 平 川 則 昭 記

八戸市立小中野中学校創立五十周年記念誌 飛翔 より